



2010年11・3 憲法集会

沖縄から問う憲法と日米安保

沖縄県宜野湾市にある米海兵隊普天間基地は、住宅地の真ん中にあり、市民は常に騒音や墜落事故の危険にさらされ、「世界一危険な基地」といわれています。その撤去について、鳩山前首相は「最低でも県外」と約束していましたが、結局は米国の圧力に屈し、美しいサンゴ礁とジュゴンの棲む辺野古の海への移設に合意してしまいました。菅首相も、その合意を無批判に引き継いでいます。憲法公布65年目を迎えるこの日、あらためて普天間基地爆音訴訟弁護団長の新垣勉さんとともに米軍基地と憲法について考えてみたいと思います。



講演：新垣 勉さん（弁護士）

1946年生まれ。73年に弁護士登録、76年コザ法律事務所開設。反戦地主弁護団、代理署名拒否訴訟大田知事弁護団に参加。2003年4月より2003年度沖縄弁護士会会長を務める。現在、沖縄弁護士会常議員、日本弁護士連合会憲法委員会委員など。米軍人等による被害の会会員、日米地位協定改定を実現するNGO事務局長として基地問題に尽力。著書は『憲法と基地(1)』（法律文化社『憲法と沖縄を問う』2010年所収）など。

発言 志葉 玲さん イラク戦争の検証を求めるネットワーク
千葉利江さん 東京大空襲訴訟原告団

ベトナムからの贈り物

トルン：ホー・ティー・ランさん **ピアノ：マイ・カンさん**

ランさんは、ふえみんが支援している、ベトナム・ダナンの生活困難な子どもの養護施設「希望の村」を卒園後、日本語を学び、2009年3月、自立支援の留学生として来日。カンさんもベトナムからの留学生。ベトナムの民族楽器トルンは、中部高原地帯（タイグエン）で生まれた竹の打楽器。元は数本の竹筒が縄梯子状に吊るされた小さな楽器で、タイグエンに住む少数民族の間でのみ演奏されていたが、工夫を重ねて大型化、奏法、表現も豊かになって、現在ではベトナムの代表的な伝統楽器のひとつとして知られている。ランさんのトルンの演奏はベトナムの心を伝えて好評。



11月3日(水・休) 開場13:00 開会13:30

韓国YMCA スペースYホール

JR水道橋駅東口より徒歩10分

参加費700円 学生500円 高校生以下無料

主催：11・3憲法集会実行委員会

（「憲法」を愛する女性ネット 憲法を生かす会 憲法を生かす会 東京連絡会 市民憲法調査会 全国労働組合連絡協議会 日本消費者連盟 VAWW-NET ジャパンピースポート ふえみん婦人民主クラブ 平和憲法21世紀の会 平和を実現するキリスト者ネット 平和をつくりだす宗教者ネット 許すな!憲法改悪・市民連絡会）
連絡先：東京都千代田区三崎町2-21-6-301 電話03-3221-4668 FAX03-3221-2558

